

光明台中学校区 未来の学校づくりニュース



2026
4月

No.2

学校適正配置の検討のため、2回目の意見交換会を開催しました
・3月28日（土）光明台北校区、3月29日（日）光明台南校区

意見交換会の内容

- ①前回意見交換会の質問や意見の振り返り
- ②南松尾はつが野学園・槇尾学園の現状と課題
- ③新校の設置場所
- ④通学対策
- ⑤今後の進め方
- ⑥上記テーマに関するグループワーク

※当日の資料
はこちら



②南松尾はつが野学園・槇尾学園の現状と課題について

和泉市の施設一体型義務教育学校の状況をQA形式で共有しました

小中で授業時間が違って混乱しない？

始業のチャイムのみ同時刻に鳴らします。
休み時間を小学生は15分、中学生は10分
にして運用し、混乱はありません。

中学生の授業中、小学生の遊びは制限？

制限していません。
テスト期間中は、中学生の教室前のろう下
に入らないように対応しています。

6年生に最高学年の自覚が持たせられない？

前期課程のみでのたてわり活動等により、
前期課程のリーダーとして自己有用感を高
める取組みも実施しています。

小学生が中学生の問題行動に影響されな い？

上級生は下級生への思いやり、下級生は上
級生へのあこがれをもつことができるよう
になることも報告されています。

運動場や体育館の利用が制限されない？

南松尾はつが野学園は時間帯を分けて使用
する、槇尾学園は低学年専用のテラスを設
置するなどの工夫をすることにより、制限
はありません。

保健室や図書室は、小学生と中学生で二 ズが違うのでは？

南松尾はつが野学園や槇尾学園では、養護
教諭は2名配置で、保健室も前期・後期の2
室あります。図書室は1つですが、それぞ
れのニーズに応じた図書を配架しています。

③新校の設置場所について

校区内のいずれの学校も築40年以上を経過しているため、統廃合の場合は、子どもたちが安全・安心で快適に過ごせる高機能な学校を新設します



光明池緑地運動場並びにUR団地敷地での整備も検討しましたが、活用できないことが確認できたことから、3校のいずれかでの現地建替えを検討します。

	敷地面積 (㎡)	敷地の状況
光明台中学校 (築47年)	27,001	敷地面積が最も大きい 緑地運動場を活用しやすい 不整形で高低差あり
光明台北小学校 (築40年)	22,006	道路面からフラットで工事しやすい 敷地面積が小さい
光明台南小学校 (築47年)	22,063	整形地 敷地面積が小さい

④通学対策について

統廃合で通学距離が遠くなり、2kmを超える場合、児童の通学の安全対策を検討

- ①路線バス利用 (通学定期代補助)
- ②スクールバスの導入 (①ができない場合)

光明台中学校の敷地に新校を整備することになった場合は、室堂町や和田町、みずき台の一部が2kmを超える。

光明台中学校区において、どのような通学対策を実施するかについては、今後、詳細の検討を進めていきます。

⑥グループワークでの主な意見

- 小学生と中学生を日常的に一緒にする必要があるのか。同じ空間を使うことのメリットもあると思うが、校舎を別にしてもよいのではないか。
- 保護者が自家用車で子どもを送迎することを想定すると、乗降のための場所が必要。
- 光明台中学校で新校整備すれば、コミュニティ体育館や緑地運動場が活用しやすい。
- 施設一体型義務教育学校となる場合、小中学生が互いに気を遣わず、のびのびと活動でき、安全が確保される学校にして欲しい。
- 学校の統合に伴い、避難所が減ることが心配。跡地がどうなるか気になる。

⑤今後の進め方について

- ・ 次回の意見交換会は、5月または6月の開催を予定しています。
- ・ 次回以降は北校区、南校区を統一して意見交換会を予定します。

ニュースレターをメールで配信します！

ニュースレターの配信を希望される方は、右の二次元コードを読み取っていただき、お名前、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。



(問合せ先) 和泉市教育委員会事務局
教育部 教育総務課

(TEL) 0725-99-8196

(E-mail) komyodai@city.osaka-izumi.lg.jp